平成 27 年度和歌山県学習到達度調査

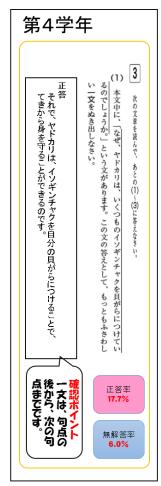
結果分析と指導のポイント

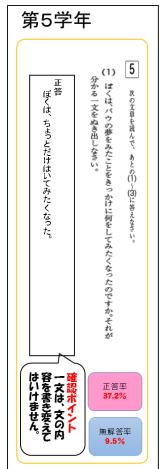
小学校 国語

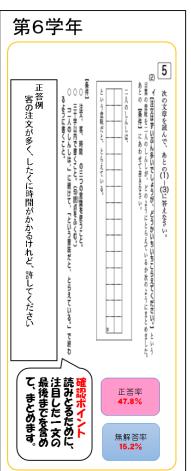
平成28年2月 和歌山県教育委員会

|平成二十七年度 和歌山県学習到達度調査 結果分析と指導のポイント (小学校国語)

◆課題がみられた問題について







課題がみられた問題の共通点

〇読みとったことを条件に合わせて記述すること

改善の工夫

練習させる。 の児童に読みとるための方法を指導し、条件に合わせて記述させ、反復

◆改善の工夫について(文学的な文章でも、説明的な文章でも)

① 読みとるための方法を指導する。

に着目すればよいのかを示します。 読みとるための方法を指導するときは、具体的に何

うに具体的に示します。が、どうした』という内容が必要になります。」というよが、どうした』という内容が必要になります。」というよ例えば、「あらすじをまとめるには、『いつ、どこで、誰



② 条件に合わせて読みとったことを記述させる。

しやすくなります。ることによって、児童は何を書けばよいのかをイメージ指導者が、条件を設定し、それに合わせて記述させ

確認させることも大切です。します。また、児童に自分の記述が条件にあっているか例えば、キーワードや字数制限等を条件として設定



③ 反復練習させる。

習が必要です。
学習したことを確実に定着させるためには、反復練

させることによって、児童の理解は深まると考えます。例えば、教材文や条件を変更して様々な反復練習を

▶教科書にそった改善の工夫の具体例(文学的な文章では)

他にも、情景がえがかれているところをさがし、心情を考えよう。 次の情景からは、「大造じいさん」のどのような心情が想像できるだろう。

- あかつきの光が、小屋の中にすがすがしく流れこんできました。
- 光村図書 平成二十七年発行 国語五 銀河 一三三ページから)

1 読みとるための方法を指導する。

がしい」の意味は辞書で確認します。 まず、問われている文の内容をとらえさせます。「あかつき」や「すがす

けて考えさせます。 行動や気持ちの記述を関係づけて考えればよいことを指導します。 例えば、「会心のえみをもらしました。」と「しめたぞ。・・・」等を関係づ 最後に、問われている文とまわりの文にえがかれている大造じいさんの 次に、この文にえがかれている大造じいさんの気持ちを考えさせます。

2 条件に合わせて読みとったことを記述させる。

情を考えさせます。 えがかれているかどうかは、指導者が説明し、①の方法を活用して、心 児童の探した情景がえがかかれているところを確認します。情景が

さい等の条件を設定し記述させます。 例えば、心情を考えた理由を二つ書きなさい、

〇字以内で説明しな

3 反復練習させる。

です じめ条件が似ている文章を探しておき、反復練習させることも効果的 教材を利用して、家庭学習等で反復練習できればよいですが、あらか

練習させます。 例えば、椋鳩十の他の作品で情景のえがかれている文章を示し、反復

・様々な条件を提示した反復練習

練習をさせる際に参考にしていただければと考えます。 を出題しています。児童の実態や学年に応じて条件をかえていますので、反復 例えば、要旨をとらえることに関して、県到達度調査では、次のような問題

題名や何回も出てくる言葉に着目すること、文章の始まりやまとめに要旨に関わることが えの中心となる事柄であることを指導する。次に、要旨をとらえるための方法を指導する 書かれてあることが多いこと、それ以外の意見の文にも筆者の考えが表れていること等を指 |要旨をとらえる」ための方法 まず、要旨は、筆者が取り上げている内容の中心となる事柄、あるいは、それについて考

導する。

○ ②は、二十字で書くこと。(た五年生の段階)○ ①は、本文から八字の言葉をぬき出すこと。○ 要旨を学習し始め条件
考えることです。
ということ 生の段階 本文中の言葉を使って 一」に書き入れ、文を完成させなさい。 習していな 本文中の言葉を使って 一」に書き入れ、文を完成させなさい。 習していな で言を学 「例1

【例 3】

この文章の要旨をまとめます。次の条件に合わせて書きなさい。

〇「健康」、「楽しむ」の言葉を使って書くこと。

句読点をふくめ、五十字以上、七十字以内で書くこと。

★児童の実態や教材文に合わせてステップ①~③を効果的に利用してください。

を自分で考える 六年生の段階 児童が、要旨

ステップ3

読む力を伸ばすために

~読解過程のどこでつまずいているのかを把握し、指導・支援につなぐ~

読解過程のモデル例

つまずきの例

文字・単語を読む段階

文字を音に変換

語

語のまとまりを 認識しながら 読む

> 漢字を 音に変換

文・文章を 読む段階

文を読み とる段階 文章を読み

とる段階

当該領域の 知識 正確に読めても、読解することが難しい

日常会話で使う頻度の少ない言葉や、抽象的な言葉の理解に時間がかかる

表現する言葉が限られる傾向にある

拗音、促音等の特殊音節を読み誤る

語のまとまりの認識に時間がかかる

読み誤る漢字が多くみられる

読み誤りが多い

音読に時間がかる

文章を読みとる段階に至るまでの過程 において、語彙量は重要な役割を担って います。読む力を育むためには、早期か ら語彙を豊かに育む取組を継続していく ことが大切です。

→詳しくは、「平成26年度和歌山県学習到達度 調査結果分析と指導のポイント」をご覧ください。

文字・単語を正確になめらかに読む力が、ひいては読解力の向上につながるとの報告がなされています。したがって、なめらかに読む力を育む手立てを早期からおこなうことが重要だと考えます。

→詳しくは、「平成26年度和歌山県学習到達度 調査結果分析と指導のポイント」をご覧ください。

文法の知識が定着していない

文をつなぐ手がかりとして接続詞を 用いることが難しい

文章全体の構成を把握することが難しい

文章の要点を正しく読みとることが難しい

単語の意味を理解し、さらに文法的な知識等を用いながら文の内容を読みとり、文脈理解などの最終的な文章読解の段階へと到達します。この段階では、文の意味をつないで理解するだけではなく、文章に示されていないことに関する推論もおこなわれます。そのため、文章のテーマとなっている領域の知識等も必要となります。

漢字の学習に関する支援の例

読解のつまずきの背景には、熟語の難しさが影響している場合もあります。 抽象的な意味の熟語は小学校の高学年になるにつれて増えてきます。

具体的な意味の	抽象的な意味の
熟語の例	熟語の例
外国・台風	分別・苦心
工場・空港	感知・選別

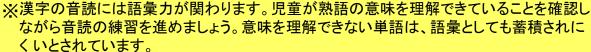


漢字の学習では、

- ・漢字に視覚的イメージ(絵や写真等)を持たせ、読みと結びつけていく
- ・漢字を訓読みして平易な言葉に言い換えをする。

例)集配→集める+配る

など、漢字の読みと意味をあわせた支援を取り入れましょう。



※熟語は、児童が普段からさまざまな場面で目にしたり耳にしたりするものです。学習では、 例えば、他教科で同時期に学習している教材の熟語についても、上記のような工夫を取 り入れることが有効です。

文字・単語を読む段階の支援の例

この段階でつまずいている場合、文字や単語を音に換えることに時間やエネルギーが費やされるため、 読解力のみならず、読んでいこうとする意欲にも影響が及んできます。

「入門期」は特に大切な時期と報告されています。 低学年段階からの手立てを!

【支援例①】

まとまりとしてとらえられる語を増やすために 語彙の拡大を図る。

- ・言葉遊び等で、語彙の拡大を図る。
- 読書環境を整備し、日常的に読書に親しませる。
- 辞書等を利用して調べる習慣を身につけさせる。
- ・学んだ言葉を他教科においても活用することで 習得を図る。

【支援例②】

動作化や視覚化によって、特殊音節の音節構造を わかりやすく示す。

動作化の例:きって→①手を叩く②両手にグー を作る③手を叩く

・視覚化の例:きって●●● ぼうし●─●

きんぎょ●●◎ ちきゅう●◎—

指導・支援のポイント 「楽しみながら」 「達成感を得て」 「自信や意欲を高められるように」

【支援例③】

音読の際、文中の語のまとまりをとらえにくい場合 には、そのまとまりを認識できやすいような手立てをお こなう。

- ・単語ごと、もしくは文節ごとに横線を引いたり、 分かち書きにしたりする。
- ・文章中に出てくる単語を絵や写真で示す。

【支援例④】

読みに時間がかかる場合、子供の実態に合わせた 環境調整をおこなう。

- ・漢字に振り仮名をつける。
- ・文章をリーディングして聞かせる。
- ・文字のサイズや行間を読みやすい大きさに調整

【参考文献】

- ・国立特別支援教育総合研究所(2015)「特別支援教育の基礎・基本 新訂版」

文章を読みとる段階の支援の例

文と文の関係や、段落と段落の関係をつなぎながら読みとることが難しい場合

【基本文】

ラッコは、どうして海そうを体に巻き付けて 眠るのでしょうか。

ラッコが眠る時には、海流に流されてしまう おそれがあります。海そうには、波や風を受け てもちぎれることは少ないという特徴がありま す。ラッコは、それらのことを知っています。 だから、ラッコは、海そうを体に巻き付けて 眠るのです。

【支援例①】 基本文の文章中にある接続詞を外し 文と文の関係をわかりやすくしたものを示すと読 解が促されたとの報告がなされています。

ラッコは、どうして海そうを体に巻き付けて 眠るのでしょうか。

ラッコが眠る時には、海流に流されてしまう おそれがあります。海そうには、波や風を受け てもちぎれることは少ないという特徴がありま

海そうが、海流から身を守ってくれることを <u>知っているので</u>、ラッコは、海そ<u>うを体に</u>巻き

付けて眠るのです。

「だから」の前には理由が、 後には結果が述べられて いるんだね。

【参考文献】

小野塚裕子・後藤隆章・小池敏英(2010) 東京学芸大学紀要総合教育科学系 I 61:281-290

ラッコは、どうして海そうを体に巻き 付けて眠るのでしょうか。

説 眀

ラッコが眠る時には、海流に流されて しまうおそれがあります。海そうには、 波や風を受けてもちぎれることは少ない という特徴があります。

海そうが、海流から身を守ってくれる <u>とを知っているので</u>、ラッコは、海そ うを体に巻き付けて眠るのです。

【支援例②】左のような支援に加え、上記のように 文章の構成を示すと、さらに読解が促進される場 合もあると報告されています。

しながら読めるよ。なるほど。展開を予想

これらの手立てによって、接続詞の役割や文 章の構成についての理解も深まると考えられま

接続詞の役割や文章構成についての理解が 深まると、それらを文章全体の意味を読みとる手 がかりとして用いることができるようになります。

